

ほんじつ
本日のおすすめの本④5

がっこうとしょかん
～学校図書館だより号外～



ブックマ

令和2年12月14日

横浜市立本牧南小学校
学校司書 青木美佳

『月でたんじょうパーティをひらいたら』

ジョイス・ラパン^{さく} 2019年初版^{ねんしよばん} 廣済堂^{こうさいどう} 貸し出し可^か(1の書棚^{しよなげ})



こんねんど
今年度の「読書感想画」の課題

としよ
図書^{さつ}の1冊です。

月は、地球からおよそ38万キロはなれています。
宇宙船にのっても3日かかりますが、もし、人が歩いて行けたとしたら、10年以上もかかる距離です。(今、10歳の子は大人になってしまいますね。)

そんな、月は太昔から、世界中の人が太陽と同じように身近に感じている天体です。
宇宙空間をすすみはじめると、みんな体の重さが感じられなくなり、ぷかぷかと浮かび上がってきますよ。

そんなところで、もし、あなたが「たんじょうパーティ」をひらいたら、どんなに楽しいことができるでしょうね？

ぜひ、そうぞうしてみてください。

わたしたちが見ている月は、いつも「月のおもて」だけで、それはどんな望遠鏡でみても同じだそうです。
1959年に探査機が「月のうら」の写真を見るまで、なにがあるのか、たしかなことはわからなかったんだって。



月では重力が地球の6分の1しかありません。だから、ジャンプすると、なめらかに宙をとび、6倍ながい時間、6倍高く、浮いていられますよ。楽しそうですね。

はやぶさ2のカプセルも地球に到着しましたね！！